

事務事業チェックシート

事務事業No 119 事業名 粗大ごみ収集運搬事業

[長期総合計画]

分野別目標	2	住みたいと選ばれる魅力があふれるまち
政策	4	自然と共生する環境にやさしい社会の形成
施策	2	循環型社会の形成
取組方針	2	廃棄物の適正処理、適正管理

事業種別	継続	
事業期間	H19 ~	
事業実施の根拠法令		
関連個別計画	一般廃棄物処理基本計画	
担当課・担当課長 (Tel)	一般廃棄物課	山下 幸宏 (435-1352)
関連課	青岸清掃センター・収集センター北事務所	

[事業基本情報]

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・予算区分	会計		一般会計	
	款		衛生費	
	項		清掃費	
	目		塵芥処理事業費	
	大事業		塵芥処理事業	
事項		粗大ごみ収集運搬事業		

1 事業概要及び実施内容

事業概要	事業目的 (「誰・何」をどういう状態にする) ための事業か) 市民からの申し込みにより、粗大ごみの適正処理を行う。	事業内容 市民が不用となった粗大ごみについて、収集センター北事務所内にある粗大ごみ受付センターに電話で申し込み、収集日を決定した後、市から委託を受けた業者が回収を行う。				
	実施内容	平成26年度 粗大ごみの収集受付件数 34,723件 粗大ごみの収集トン数 1,923トン 動物死体の収集受付数 3,307件 粗大ごみ日曜搬入の受付件数 2,282件	平成27年度 粗大ごみの収集受付件数 34,546件 粗大ごみの収集トン数 1,815.6トン 粗大ごみ日曜搬入の受付件数 2,204件	平成28年度 粗大ごみの収集受付件数 47,617件 粗大ごみの収集トン数 1,929.33トン 粗大ごみ日曜搬入の受付件数 2,281件	平成29年度 粗大ごみの収集の申し込み受付後委託業者が回収	平成30年度 粗大ごみの収集の申し込み受付後委託業者が回収

2 事業コスト

事業費等 (千円)	平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度	
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費	45,980	44,562	52,835	52,801	52,810	52,801	52,810	52,810	52,810	
伸び率 (%)	-	-	14.9%	18.5%	▲0.0%	0.0%	0.0%	▲100.0%	0.0%	-
人件費	正規職員	1,971	1,722	1,749	1,997	2,235	2,434	2,343	2,343	
	正規職員以外	0	0	0	0	0	0	0	0	
	小計	1,971	1,722	1,749	1,997	2,235	2,434	2,343	2,343	
国庫支出金										
県支出金										
市債										
その他										
一般財源 (税等)	45,980	44,562	52,835	52,801	52,810	52,801	52,810	52,810	52,810	
所要人数 (人)	正規職員	0.26	0.23	0.23	0.26	0.30	0.31	0.29	0.29	
	正規職員以外	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0	0	0	
主な予算内訳	管理委託料 52,801千円 他									

3 目標及び実績

指標名	単位	目標値	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
			実績値	実績値	実績値	実績値	実績値
活動指標 受付件数	件	目標値					
		実績値	34,723	34,546	47,617		
		達成度 (%)					
成果指標 適正処理率	%	目標値	100	100	100	100	
		実績値	100	100	100		
		達成度 (%)	100.0%	100.0%			
活動指標 収集量	トン	目標値	1,771	1,740	1,709	1,677	
		実績値	1,923	1,815	1,929		
		達成度 (%)					

4 事業の評価

評価基準						
[妥当性]事業のニーズはあるか		増加している	○	横ばい		減少している
[妥当性]事業手段は妥当か		現行の手段でよい	○	一部見直しが必要		見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か		市が行うべき	○	他の主体との協働も可能		市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要があるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む		緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか		できる	○	あまりできない		できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか	○	達成している(90%以上)		おおむね達成(70~90%未満)		達成していない(70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	○	一定の貢献度がある		貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある		できる
[効率性]受益者負担の見直し		適正		負担は求められない	○	見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				
	現状維持			○	
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	現時点では委託業者に対する苦情がほとんどなく、収集時間についても、年末及び引越シーズン等の特定の繁忙期を除くと、遅滞なく行えているため。
見直し・改善内容	粗大ごみの中にはまだまだ使用可能なものも多く含まれている。更なるリサイクル、リユースの啓発に努める必要がある。